

令和	6	年度	事業者番号	0250	事業所番号	025000
----	---	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	マレリ株式会社 本社		前年度における事業所数	1
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村	さいたま市北区		
	字 ・ 地 番	宮原町2丁目19番地4		
当該事業所を含む事業所の名称 （※Bテナント等の場合のみ記入）				
産 業 分 類 名 （ 中 分 類 ）	31 輸送用機械器具製造業			
分 類 番 号 （ 中 分 類 ）	31			
事 業 活 動 の 概 要	事業内容：輸送用機械器具製造 従業員：152人（2024年3月末現在）			

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排出量	3,039	t-CO ₂	基準となる 原単位	0.0646 t-CO ₂ /m ²
		オフィスである研究開発センター・本社は床面積当たりのCO ₂ 排出量原単位を単位として、平成22年度実績を基点にして令和6年度までに6%削減する。但し、エネルギー負荷が22年度と同一とする前提条件とする。又、第2計画期間では電気の排出係数が0.386→0.495に変わったことにより22年度実績相当値は0.0646とする。				
削減目標	その他ガス	該当物質が無く、特に無し。				

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排出量		t-CO ₂	基準となる 原単位	
削減目標	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	マレリ株式会社 本社	さいたま市北区宮原町2丁目19番地4
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	1,245	1,156	1,108	459	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基 準	3,039	2,437	2,264	2,180	898
	前 年 度 比 （ % ）	—	-7.1	-3.7	-58.8	
	基 準 となる 排出量 に対する 削 減 率 （ % ）	19.8	25.5	28.3	70.5	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	0	0	0	0	
	メ タ ン	0	0	0	0	
	一 酸 化 二 窒 素	0	0	0	0	
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン	0	0	0	0	
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン	0	0	0	0	
	六 ふ っ 化 い お う	0	0	0	0	
	三 ふ っ 化 窒 素	0	0	0	0	
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		2,437	2,264	2,180	898	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基 準	0.0646	0.0518	0.0481	0.0492	0.0403
	前 年 度 比 （ % ）	—	-7.1	2.3	-18.2	
	基 準 となる 原単位 に対する 削減率 (%)	19.8	25.5	23.8	37.7	
活 動 規 模 の 指 標 単 位		47,043.00	47,043.00	44,270.00	22,299.00	
床面積		m ²				

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	新型コロナによる影響で在宅業務が増加したことにより、照明、空調の使用低減による影響が大きかった。
令和３年度 (2021年度)	新型コロナによる影響で在宅業務が増加したことにより、照明、空調の使用低減による影響が大きかった。
令和４年度 (2022年度)	新型コロナによる影響で在宅業務が増加したことにより、照明、空調の使用低減による影響が大きかった。また、原単位の分母である延床面積が47,043㎡から44,270㎡に変更。（2021年9月末に西館終了、2022年1月から新本社稼働）
令和５年度 (2023年度)	従業員数の適正化に伴い、新本社へ本社機能を移転、旧本社の操業が2023年8月末までとなり、エネルギー使用量が前年度比、約59%減少。 また、原単位の分母である延床面積が44,270㎡から22,299㎡へ変更し前年度比、約50%減少。（2023年8月末に新本社への移転完了に伴い、旧本社の延床面積を5ヶ月／12ヶ月とし新本社の延床面積と合算）。
令和６年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	150300	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の 管理	長期連続休暇中の電子掲示板の完全停止		R1以前	1.0
2	140100	給湯設備、給 排水設備、 冷凍冷蔵設 備、厨房設備	14_給湯設備の管理	手洗い温水器 停止による削減		R1以前	7.0
3	130100	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和の運転 管理	外気導入の適切化		R1以前	0.0
4	130100	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和の運転 管理	吸収式冷凍機の台数管理		R1以前	34.0
5	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	西館1階天井照明、製品展示室の天井照 明の点灯時間短縮化	R2	R2	1.0
6	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	ライトダウンキャンペーン期間中の広告塔と 外観照明の消灯		R3	0.0
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

事業所番号	025000
-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（A、Bテナント等事業所用）

A事業所(5)

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

第3計画期間は 事業再編に伴い、本社従業員数に合わせた規模のビルへ本社機能を移転しエネルギー使用の合理化を図りました。（2023年8月末に新本社への移転完了）